

German

Introductory German

(夜間主(全1~4年))

keiji Ido · ASSOCIATE PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

1 unit 後期 水 13・14

(平成19年度以前の授業科目:『ドイツ語入門』)(平成16年度以前(医保は17年度以前)の授業科目:『ドイツ語(1)』)

Target) ドイツ語の基礎を習得し、またドイツ事情に触れる。英語以外の外国語を学び、英語圏以外の外国の事情や文化を知ること、偏りのない健全な国際感覚を持つために必要であり、知的な刺激を得るためにも有益である。ドイツはヨーロッパにおける日本の重要な貿易や文化交流の相手であり、かつて板東取容所でドイツ人捕虜が「第九」を初演したことなどにより、徳島との関連も深い。

Outline) 読章、文法説明、練習問題からなる総合的な教科書を用いて上記のことを学ぶ。知識を少しずつ確実なものにしてゆくため、授業のはじめに前回習った基本的な事項について小テストで問う。時として、視聴覚教材などを用いてドイツ事情、ドイツ文化を紹介する。

Keyword) 外国語, ドイツ語, 異文化理解

Goal) 初級ドイツ語を使って、簡単な文書を読み、旅行に行っても困らない程度のコミュニケーション能力を養うことと、ドイツ語圏の文化についての理解を深めること。

Schedule)

1. 授業ガイダンス, 前期の復習
2. 8 課, 3 基本形, 過去形
3. 同上, ドリル問題
4. 9 課, 完了形
5. 同上, ドリル
6. 10 課, 再帰代名詞・再帰動詞, 前置詞
7. 同上, ドリル
8. 11 課, 形容詞の格変化
9. 同上, ドリル
10. 中間テスト
11. 12 課, 比較
12. 13 課, 関係代名詞
13. 同上, ドリル
14. 復習
15. 期末試験

16. 総括授業

Textbook) 「行ってらっしゃい」(朝日出版社)

Evaluation Criteria) 中間試験, 期末試験, 平常点(小テスト, 授業への取り組み方など)で総合的に評価する。

Re-evaluation) なし

Message) 出席を怠らず, 課題をしっかりと果たすこと。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221376>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Ido (ido@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 火曜日16-17時, 3号館1階学習支援室)